

一生懸命に生きて

伊勢原市支部 斎藤 フデ（妻）

戦没者 斎藤 国雄

戦没地 山梨県・陸軍病院

主人、斎藤国雄は昭和十九年四月横浜の高根町に住み、日本海運の造船所に勤務していました。長女が生まれ三ヶ月でした。夫に召集令状が届き中国の戦地に渡りましたが、病気にかかり山梨県の陸軍病院に転院してきましたが、昭和十九年十二月十一日亡くなりました。陸軍一等兵でした。

横浜大空襲で子供を負い防空壕に急いで入りました。空襲が少しおさまり外に出た時、川の向こう側は火の海で、私達が三吉小学校に着いた時は風の向きが変わり、火の粉が飛んできて大変でした。空襲がおさまり黄金町の駅まで歩いた時、途中は亡くなった人が並べてあり異臭がすごかったのを忘れることができません。

その後は、実家近くの農家の方の親切で納屋を改造してくれ、約二十年間八十九歳まで住んでいました。

最近、娘夫婦二人にかこまれこの伊勢原にお世話になっています。